

平成25年度 事務事業評価シート

※平成24年度に実施した事業を評価しています

事務事業名称	防災意識の普及・高揚						継続					
コード	24	-	14	-	02	-	01	予算事業名	防災事務			
担当部署	総務部	防災危機管理課	防災担当	予算事業コード	会計	10	款	9	項	01	目	02

1. 事業の位置付けと関連計画、関連事業等

第三次川越市総合計画上の位置付け(太枠内)			位置付けなしの場合	法令による実施義務	義務ではない
基本目標(章)	6章	人と人のつながりを感じ、安全で安心して暮らせるまち	実施計画事業名	防災意識の普及・高揚	
方向性(節)	2節	安全で安心な暮らしの確保	個別計画等の名称	川越市地域防災計画	
施策	1	防災体制の整備	当事業に関連する事務事業	なし	
細施策	2	防災意識の普及・高揚			
事業実施の根拠となる法令・条例等	なし				

2. 事業の目的と概要

事業の目的 (誰・何を対象に、何のために実施するのか)	すべての市民を対象に防災関係機関・市民の連携を強化し、また、実践的活動を通じて防災に対する意識の高揚を図る。
事業の概要 (活動内容、実施手段・方法など)	毎年度、川越市自治会連合会及び防災関係機関等と協力して、災害時の防災活動力を養う各種訓練や防災ポスターコンクール等の啓発活動を行う。

3. 実施にかかるコストと実績

(単位:千円)

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
予算額		3,203	437	3,867	3,815	
(25年度予算額大幅増/減の理由)						
事業費 A	449	2,210	395	1,824	3,815	3,006
人件費 B	0	5,136	2,201	3,669	7,337	7,337
総コスト(C=A+B)	449	7,346	2,596	5,493	11,152	10,343
正規職員(1年間の従事人数)		0.70人	0.30人	0.50人	1.00人	1.00人
臨時職員(1年間の従事人数)						
国県支出金 D						
その他特定財源 E						
市の財政負担(=C-D-E)	449	7,346	2,596	5,493	11,152	10,343

※25年度、26年度の事業費、人件費は見込額
※臨時職員の給与も、人件費に含みます。

4. 成果指標・活動指標による分析

評価指標	単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度目標値	将来目標値
成果 総合防災訓練参加者数	人	中止	693	中止	中止	中止	年度
指標の定義・説明	総合防災訓練に参加した市民の数						
成果 防災ポスターコンクール応募者等	人	591	588	785	711	750	27年度 800
指標の定義・説明	防災ポスターコンクールに応募した小・中学生の数						
図上訓練参加者数	人			中止	中止	中止	27年度 103
指標の定義・説明	図上訓練に参加した職員等の数						
活動 防災訓練参加者数	人				810	1,200	26年度 1,200
指標の定義・説明	防災訓練に参加した市民の数						
指標に基づく評価	防災ポスターコンクール応募者数は、平成23年度以前は600人を切る状況であったが、平成23年度以降は東日本大震災後のため大幅増となった。平成24年度防災訓練は、1回の開催で800名以上の参加があることから、防災意識の普及・高揚を図るための手段として有効である。						

5. 事業の実施を通じた分析

(1) 現在の課題と状況	有効性に課題
平成24年度の防災訓練は、自治会、市職員が協力して避難所の開設・運営を実施した。今後は、より一層各役割を徹底して浸透させ、いざ災害といった時に即応できる能力の向上を図る必要がある。	
(2) 比較参考値(他市での類似事業の例など)	
(3) 事業を廃止・縮小したときの影響	
東日本大震災後ということもあり、市民の防災に対する意識は高い状態にあるが、いざ災害といった時に即応できる状態を維持していくためには、本事業の継続は不可欠である。事業を廃止縮小した場合、災害時における被害の拡大が懸念される。	

平成25年度事務事業評価 方向性提示シート

所管部署		総務部				防災危機管理課	防災担当
事務事業名称		24	14	02	01	防災意識の普及・高揚	
今後3年間の方向性	25年度	継続					
	26年度	継続					
	27年度	継続					